

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)舞鶴SC 新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府舞鶴市字下福井小字平方41	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XX 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年10月15日
敷地面積	11,352 m <sup>2</sup>	作成者	㈱T&N北海道設計事務所
建築面積	4,237 m <sup>2</sup>	確認日	2012年10月15日
延床面積	8,336 m <sup>2</sup>	確認者	㈱T&N北海道設計事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

標準計算  
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

400%  
55%  
55%  
55%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5  
Q1 室内環境 4  
Q3 室外環境(敷地内) 2  
LR1 エネルギー 2  
LR2 資源・マテリアル 2  
LR3 敷地外環境 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地周辺に住宅が多い為、敷地境界周りに緑を配置することで、閉鎖感を与えず、人と緑のつながりを持たせ、良好な生活空間に配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	給気位置と排気位置の距離をとり、ショートサーキットをおこさず、新鮮空気を取り入れるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 道路周辺には緑地を配置し、車マスにも一部芝を張ることで、敷地内の温度上昇を極力防ぐように配慮した。
LR1 エネルギー	照明の照度を高くせず、空調はデマンド制御とすることで、電力消費を削減できるように配慮した。	LR3 敷地外環境 周辺には住宅も多いことから、営業終了から15分後には、外灯が消えるように配慮した。
Q2 サービス性能	敷地内及び売場内には段差を設けず、身障者でも支障なく使用して頂けるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	鉄骨造の為、再利用することが可能であり、解体も容易に分別できるように配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される